

## ～取り組み～ 看護部

看護部長  
花岡光子



### 看護はアート。'質の向上'はスタッフの満足から

近年、社会的にもよく聞かれるようになった看護の質。看護において'質の向上'とは、何なのでしょう？それは、看護スタッフ自身が、自らの仕事に満足して働けることだと私たちは考えています。看護する側が満足していなければ、患者さんに満足いただけるサービスなど提供できないからです。



看護はアート。自分のポリシーをしっかりと持ったスタッフが集まって初めて、良い看護も実現できるのです。こうした考えに基づき、友愛記念病院看護部では、一人ひとりが能力を遺憾なく発揮し、楽しんで看護ができる環境づくりに特に力を入れています。

### さまざまな取り組みで、人材を人財へ

平成6年からスタートした看護スタッフの人事考課もそうした取り組みのひとつです。考課の内容は本人にフィードバックして、気づきややる気を促すようにしています。人事考課を開始してから、みんなに'自分は友愛記念病院スタッフの一員である'という意識も芽生えてきました。その効果が認められ、看護部から始まった人事考課が、今ではドクターを含め当院の全員に実施されるようになりました。

また、救急看護や化学療法看護など特定の専門知識や技術を持った看護師を育てる認定看護師や専門看護師などの各研修への参加も積極的に支援。同じく、それぞれの視野

を広げるために、院外で開催される各種研修会への参加も促しています。研修から帰った後は、学んできた情報を他のスタッフと共有。看護部全体のレベルアップも図ります。

その他、サービス残業を一切なくした業務シフトの見直しや、スタッフの自主性を促す看護部独自の運営組織の確立など画期的な試みにも次々と着手。部内の意識調査で、スタッフの8割が「自分のやりたい看護を実現できている」と認めるところまで来ています。

### 当院を選んでくれた患者さんに全力で応えたい

こうした取り組みが、実際の看護へも反映されているのか？それを確かめるために当院では、退院の際、患者さんへアンケートをお願いしています。その結果、とても喜ばしいことに、当看護部は、みなさんから大変良い評価をいただいています。この嬉しい評価がまた、次のステップへ向かう私たちの大きな励みともなっています。



患者のみなさま、これからも困ったことや要望は、遠慮しないで何でも私たちに伝えてください。看護は、患者さんありき。私たちの看護は、みなさんを中心に動くのですから。

友愛記念病院を選んでくださった患者さんに、「選んで良かった」と心から感じていただけるように、私たちはこれからも高い志を持ってみんなでもって行きます。